

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:サブレスジョンチェンバ関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
詳細設計 申し送り事項 No.64	審査会合 (R1.12.17)	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブレスジョン・チェンバ内部 水質量の考え方の変更に ついて	4条-別紙8- 100	スペクトルモーダル解析モデルについて、サブ レスジョン・チェンバサポート位置の質点はサブ レスジョン・チェンバの円周方向に剛に固定され ており、構造上の特徴から支持点付近の円周方 向は高振動数にならないと振動しないので、詳細 設計段階で高次モードの影響も評価して説明す ること。	2022/9/12 2022/10/18 今回回答	サブレスジョンチェンバの地震応答解析モデルでは、サブレスジョンチェンバサポート及び 取付部は剛性を考慮したモデル化をしており、サポート間のはり要素については3つの節 点を設定していることから、高振動数領域での応答を表現可能なモデル化としています。	NS2-補-027-10-45改04「サブレスジョンチェ ンバの耐震評価における内部水質量の考え方 の変更等について」P.68(通し頁P.71)	主な説明事項 【1-8】 (分類【B】)
詳細設計 申し送り事項 No.65	ヒアリング (R1.12.4)	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブレスジョン・チェンバ内部 水質量の考え方の変更に ついて	4条-別紙8-98	3次元はりモデルを用いたスペクトルモーダル解 析について、過小評価とならないことを詳細設計 段階で説明すること。	2022/9/12 2022/9/28	3次元はりモデルと適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)の耐震評価結果の比 較により、評価上厳しい部位であるサブレスジョンチェンバサポートに対して、3次元はりモ デルは保守的な結果が得られることを確認しました。またサブレスジョンチェンバについて は、オーバル振動を考慮した場合においても評価結果には十分余裕があることを確認しま した。	NS2-補-027-10-45改02「サブレスジョンチェ ンバの耐震評価における内部水質量の考え方 の変更等について」別紙3(通し頁P.113~ 121)	主な説明事項 【1-8】 (分類【A】)
詳細設計 申し送り事項 No.66	ヒアリング (R1.11.19)	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブレスジョン・チェンバ内部 水質量の考え方の変更に ついて	4条-別紙8-25	サブレスジョンチェンバの耐震評価において、流 体解析で算出したスロッシング荷重の考慮法を 詳細設計段階で説明すること。	2022/7/25	サブレスジョンチェンバの耐震評価において、スロッシング荷重による応力の評価方法を記 載しました。	NS2-補-027-10-45「サブレスジョンチェンバの 耐震評価における内部水質量の考え方の変 更等について」P.61	主な説明事項 【1-8】 (分類【B】)
詳細設計 申し送り事項 No.67	-	-	設置許可 まとめ資料 4条	サブレスジョン・チェンバ内部 水質量の考え方の変更に ついて	4条-別紙8-21	(まとめ資料での当社の記載) 水位によりサブレスジョンチェンバの固有周期が 変動するため、耐震評価に用いる床応答スペク トルと固有周期の関係に配慮したサブレスジョン チェンバの耐震評価における水位条件の設定に ついて説明する。	2022/7/25	通常運転時の耐震評価に重大事故等時に考慮する水位条件を適用することについて、固 有周期と床応答スペクトルの関係を考慮した場合においても保守的な条件であることを記 載しました。	NS2-補-027-10-45「サブレスジョンチェンバの 耐震評価における内部水質量の考え方の変 更等について」P.141,145	主な説明事項 【1-8】 (分類【B】)

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(耐震性についての計算書:サブレッションチェンバ関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.145	サブレッションチェンバの水位の変化と設計用床応答スペクトルとの関係について、評価への影響を説明すること。	2022/9/28	通常運転時の水位における固有周期と、耐震解析用重大事故等時水位における固有周期の間に床応答スペクトルのピークが存在するが、ピークの増分が小さいこと及び内部水質量が少なくなることから、耐震評価への影響は軽微であることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙10-1(通し頁P.158)	
2	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.108	シェルモデルの両端完全拘束によるサポート取り付け部のばねへの影響について説明すること。	2022/9/28	ばね剛性の算定はサポート取付部局所を対象としており、仮に変形範囲が境界条件近くに及ぶ場合であっても、境界変形が大きく表れる範囲に対してモデル化範囲は十分大きいので、影響は軽微であることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙4-8(通し頁P.129)	
3	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.31	サブレッションチェンバサポートの剛性の設定方法について説明すること。	2022/9/28	サブレッションチェンバサポートの剛性の設定方法について記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」P.32,33(通し頁P.35,36)	
4	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.36	3次元はりモデルの適用性について、先行と異なる内容(小円の変形など)についての説明を拡充すること。	2022/9/28	構造及び評価手法について、先行プラント(女川2号機)との相違点を別紙23として整理しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙23(通し頁P.205～211)	
5	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.172	モデル化における固有周期への影響について、先行プラントと同様の確認を検討すること。	2022/9/28	解析モデルの要素ごとの固有周期への影響について、検討結果を別紙18に記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙18(通し頁P.189～198)	
6	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.46,57	3次元シェルモデルと3次元はりモデルの周期の差について、妥当性の説明を検討すること。	2022/9/28	別紙18の検討により、オーバル振動を含むサブレッションチェンバ小円変形の影響により固有周期の差が生じると考えられますが、本文4.2.4及び別紙3の検討結果より、固有周期の差の影響は軽微であり、3次元はりモデルは適用性のあるモデルであることを確認しました。	—	
7	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	全般	モデル化や妥当性検討の方法について、先行プラント(女川1)との比較表に纏めて説明すること。	2022/9/28	先行プラント(女川2号機)との比較表を作成しました。	NS2-他-206「先行審査プラントの記載との比較表(サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について)」	
8	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.145	DB条件についてもSA条件を包絡する水位で評価した方が、床応答スペクトルと固有周期の関係も含めて保守的であることについて、耐震計算書で説明すること。	2022/10/24	設計用床応答スペクトルと固有周期の関係においても、重大事故等対処設備における水位は水位H.W.Lよりも保守的な条件となることを記載しました。	NS2-添2-009-03改01「VI-2-9-2-2 サブレッションチェンバの耐震性についての計算書」P.14	
9	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.24	質点番号ごとの有効質量の対称性について説明すること。	2022/9/28	解析モデル(図4.1-5参照)において、節点17と49を結ぶ軸がX軸(EW)、節点1と33を結ぶ軸がY軸(NS)であり、各並進質量及び回転質量は、これら質点を中心に対称又は逆対称の関係があります。	—	
10	2022/8/2	NS2-補-027-10-45	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.13	解析モデルにおける補強リングの剛性の考え方について説明すること。	2022/9/28	解析モデルにおいて、補強リングは剛体として扱っていることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」P.11(通し頁P.14)	
11	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.110	サブレッションチェンバの耐震評価において、評価上一番厳しい部位に対して3次元はりモデルの方が厳しい結果が得られること、オーバル振動の影響は3次元シェルモデルで評価上問題無いことを確認したことを明確にするため、別紙3の冒頭で検討の目的を説明すること。回答内容は、回答整理表のコメントへの回答として整合するように説明すること。	2022/9/28	本資料での確認内容が明確になるように「1.概要」の記載を修正し、併せて図書構成の見直し及び項目番号等の修正を行いました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙3(通し頁P.113～121)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
12	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.116	振動モードが分散した場合に荷重が小さく得られることについてわかりやすく説明すること。	2022/9/28	適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)において分散した各振動モードにより生じる荷重の総和は、振動モードが分散しない場合と同程度と考えられるが、二乗和平方根により組み合わせるため、得られる荷重が小さくなることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」別紙3-1(通し頁P.113)	
13	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.61	設計用床応答スペクトルで高振動数の影響について配慮されていることを説明すること。	2022/9/28	今回工認では、スペクトルモーダル解析において50Hzまでの振動モードを適用していることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」JP.60(通し頁P.63)	
14	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.61	解析モデルにおける高振動数への影響について記載すること。	2022/9/28	サブレスジョンチェンバの主要な振動モードは水平方向及び鉛直方向において0.05秒(20Hz)未満で現れるため、高振動数領域を考慮しない場合においても各部位の応答を考慮した耐震評価が可能であることを記載しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」JP.61(通し頁P.64)	
15	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	全般	先行プラントにおける検討を踏まえた解析モデルについての検討結果とあわせて、解析モデルの適用性について説明すること。	2022/9/28	別紙18の検討により、オーバル振動を含むサブレスジョンチェンバ小円変形の影響により固有周期の差が生じると考えられますが、本文4.2.4及び別紙3の検討結果より、固有周期の差の影響は軽微であり、3次元はりモデルは適用性のあるモデルであることを確認しました。	—	
16	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.70	エビ継部の応力評価におけるFEMモデルへの入力として変位を用いることの妥当性を説明すること。	2022/10/24	今回工認では胴エビ継部を精緻に評価するために、胴エビ継部両側の胴一般部及び胴エビ継部の下端に取付くサブレスジョンチェンバサポートへの地震荷重の同時入力を行います。荷重を同時入力すると解析モデルの境界条件として拘束点が存在せず解析が成立しないため、変位の同時入力により評価を行います。	NS2-補-027-10-45改03「サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」JP.73(通し頁P.76)	
17	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.110	オーバル振動の影響について、配管貫通部の評価への影響を説明すること。	後日回答			
18	2022/9/12	NS2-補-027-10-45改01	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.60	有効質量比の比較結果について、はりモデルとシェルモデルの関係が水平と鉛直で傾向が異なることについて説明すること。	2022/9/28	固有値と有効質量比の関係を示すグラフについて、点と点の間を直線で接続するグラフを添付していましたが、点と点の間有効質量比を一定としてステップ状に接続するグラフに見直しました。変更前のグラフでは、鉛直方向について、3次元はりモデルは適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)よりも固有値が小さい傾向が見えていましたが、変更後のグラフにより、3次元はりモデルは適用性確認用解析モデル(3次元シェルモデル)の固有値とおおむね一致することを確認しました。	NS2-補-027-10-45改02「サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」JP.59(通し頁P.62)	
19	2022/9/12	NS2-添2-009-05	耐震(計算書)(VI-2-9-2-4)	VI-2-9-2-4 サブレスジョンチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.19	モーメントの作用方向について記載すること。	2022/10/24	モーメントの作用方向を図4-11に記載しました。	NS2-添2-009-05改01「VI-2-9-2-4 サブレスジョンチェンバサポートの耐震性についての計算書」JP.22	
20	2022/9/12	NS2-添2-009-05	耐震(計算書)(VI-2-9-2-4)	VI-2-9-2-4 サブレスジョンチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.22	断面係数の考え方を説明すること。	2022/10/24	c.断面係数について、算出の考え方が分かるように、図4-2を修正し、本文の記載を追加しました。	NS2-添2-009-05改01「VI-2-9-2-4 サブレスジョンチェンバサポートの耐震性についての計算書」JP.26	
21	2022/9/12	NS2-添2-009-05	耐震(計算書)(VI-2-9-2-4)	VI-2-9-2-4 サブレスジョンチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.15	一次十二次応力の評価を行っていないことについて、評価要否を整理して説明すること。	2022/10/24	サブレスジョンチェンバサポートについては、地震動による二次応力が生じないことから一次十二次応力評価を省略しています。	NS2-補-027-10-45改03「サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」JP.78(通し頁P.81)	
22	2022/9/28	NS2-補-027-10-45改02	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.51	はりモデルとシェルモデルのモード変形の違い(ストレーナの有無)について要因を追記すること。	2022/10/24	3次元シェルモデル(適用性確認用解析モデル)では水平の変形方向がX軸及びY軸方向と一致しているのに対して、3次元はりモデルではECCSストレーナを連成させていることから変形方向がX軸及びY軸方向からずれています。また、3次元シェルモデル(適用性確認用解析モデル)では、サブレスジョンチェンバの全周をモデル化した解析モデル(360°モデル)ではなく、半周をモデル化した解析モデル(180°モデル)を適用するが、対称条件と反対称条件の180°モデルを用いることにより、360°モデルと同様の振動特性が表現できています。以上2点について追記しました。	NS2-補-027-10-45改03「サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について」JP.41(通し頁P.44)	
23	2022/10/24	NS2-補-027-10-45改03	補足説明資料	サブレスジョンチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について	P.55	3次元はりモデルと3次元シェルモデルの比較について、各パラメータの影響を整理して説明すること。	今回回答	モデル化範囲及びストレーナ連成の有無について固有周期への影響検討を実施し、影響がないことを確認しました。	NS2-補-027-10-45改04「サブレスジョンチェンバ及びサブレスジョンチェンバサポートの耐震評価手法について」別紙18-5~16(通し頁P.200~211)	

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
24	2022/10/24	NS2-他-206改 01	比較表	先行審査プラントの記載との比較表(サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について)	P.329,332	各モデルの解析結果について、固有周期の比較結果及びそれに対する考察を追加して説明すること。また、3.3項では水平方向の固有周期の妥当性について示されていないため、資料構成の見直しを検討すること。	今回回答	本文4.2及び別紙18について、各モデルの固有周期を比較する表を追加し、考察の記載を拡充しました。また、資料構成について見直しを行いました。	NS2-補-027-10-45改04「サブプレッションチェンバ及びサブプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について」P.38～69、別紙18-1～34(通し頁P.41～72,196～229)	
25	2022/10/24	NS2-他-206改 01	比較表	先行審査プラントの記載との比較表(サブプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について)	P.335	耐震計算に用いる3次元はりモデルの妥当性について、床応答スペクトルの比較を含めて説明すること。また、3次元シェルモデルを用いた剛性の算出方法について追記を検討すること。	今回回答	3次元はりモデル(地震応答解析モデル)と3次元シェルモデル(胴一般部断面保持)及び3次元はりモデル(サポート剛性精緻化)について固有周期と床応答スペクトルの関係と比較し、3次元はりモデル(地震応答解析モデル)が保守的な結果となることを確認しました。また、3次元はりモデル(サポート剛性精緻化)におけるサポート剛性の算出方法の記載を追加しました。	NS2-補-027-10-45改04「サブプレッションチェンバ及びサブプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について」別紙18-28,32,33(通し頁P.223,227,228)	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(耐震性についての計算書:サブプレッションチェンバ関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
NO.1~247については、NS2-他-165改03で整理済みのため省略。						
248	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.2	サブプレッションチェンバの支持方法について、記載を適正化しました。	2022/11/1	
249	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.14,15,20,28,30~33	他の図書との整合を図るため、ELのマスキングを削除しました。	2022/11/1	
250	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.14	重大事故等対処設備の評価における水位が耐震評価上、H.W.L.より保守的な条件であることを明確にするため、記載を適正化しました。	2022/11/1	
251	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.16	拘束条件を明確にするため、記載を適正化しました。	2022/11/1	
252	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.18	図4-1(a)に注釈を追加しました。	2022/11/1	
253	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.18	図4-1の注記について、記載を適正化しました。	2022/11/1	
254	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.20	設計基準対象施設の評価における水位として重大事故等対処設備の評価と同じ水位を用いていることが分かるように、記載を適正化しました。	2022/11/1	
255	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.22,23,26,27	図4-2.3に注釈を追加しました。	2022/11/1	
256	NS2-添2-009-03改02	VI-2-9-2-2 サプレッションチェンバの耐震性についての計算書	P.39	地震応答解析モデルにより算出する変位の方向を明確にするため、記載を追加しました。	2022/11/1	
257	NS2-添2-009-05改02	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.16,18	他の図書との整合を図るため、ELのマスキングを削除しました。	2022/11/1	
258	NS2-添2-009-05改02	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.16	重大事故等対処設備の評価における水位が耐震評価上、H.W.L.より保守的な条件であることを明確にするため、記載を適正化しました。	2022/11/1	
259	NS2-添2-009-05改02	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.20	図4-1の修正に伴い、表4-9,10の注記*2を適正化しました。	2022/11/1	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
260	NS2-添2-009-05改02	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.22	モーメントの算出位置が分かるように、図4-1を適正化しました。	2022/11/1	
261	NS2-添2-009-05改02	VI-2-9-2-4 サプレッションチェンバサポートの耐震性についての計算書	P.23,25	図書内での記載を統一するため、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)断面係数 (新)評価部位の断面係数	2022/11/1	
262	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	表紙	補足説明資料の内容が明確になるよう、資料名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)サプレッションチェンバの耐震評価における内部水質量の考え方の変更等について (新)サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	2022/11/1	
263	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.2,3	資料修正に伴い、項目名及びページ番号を適正化しました。	2022/11/1	
264	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.7~11	図書内での記載を統一するため、図表番号を適正化しました。(下線部参照) (旧)図2 <sub>上</sub> -○、表2 <sub>上</sub> -○ (新)図2-○、表2-○	2022/11/1	
265	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.7	他の図書との整合を図るため、ELのマスキングを削除しました。	2022/11/1	
266	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.9	図2-3に内部水の説明を追加しました。	2022/11/1	
267	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.13,14	表3.1-1の表題を適正化しました。	2022/11/1	
268	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.17	図3.2-1の注記について、記載を適正化しました。	2022/11/1	
269	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.24 他	NASTRANによる内部水の有効質量の算定手法が仮想質量法であることを明確にするため、記載を適正化しました。	2022/11/1	
270	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.26	「有効質量比」が内部水の有効質量比であることを明確にするため、記載を適正化しました。	2022/11/1	
271	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.31	サプレッションチェンバのモデル化の説明について、箇条書きでの記載に見直しました。	2022/11/1	
272	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.31,33	3次元はりモデル(地震応答解析モデル)のモデル図を図4.1-6として追加しました。併せて、本文中に記載を追加しました。	2022/11/1	
273	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.35~40	図番号を適正化しました。	2022/11/1	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
274	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.35	サプレッションチェンバ胴の面内方向の変形を考慮しない理由について、記載を適正化しました。	2022/11/1	
275	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.37,129	図が不鮮明であったため、鮮明な図に変更しました。	2022/11/1	
276	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.37	図4.1-9,10について、モデル化手法が明確になるように注記を追加しました。	2022/11/1	
277	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.41 他	4.2でのモデル名を「3次元はりモデル」及び「3次元シェルモデル」に統一しました。	2022/11/1	
278	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.41 他	着眼点(1)での比較対象が振動モード及び固有周期であることを明確にするために、記載を適正化しました。 (下線部参照) (旧)固有値解析による振動モード、固有振動数及び刺激係数を比較し・・・ (新)固有値解析による振動モード及び固有周期を比較し・・・	2022/11/1	
279	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.41 他	主な振動モードの選定方法について記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)刺激係数が2桁オーダー以上の振動モード (新)刺激係数が比較的大きいモード	2022/11/1	
280	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.72	3次元はりモデルと3次元シェルモデルのモデル化の差異に関わる検討について別紙18に示すことを明確にするため、記載を追加しました。	2022/11/1	
281	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.73~75	4.4について説明内容を分かりやすくするため、図及び表を追加し、記載を見直しました。	2022/11/1	
282	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.85	一次+二次応力評価を省略する理由について、記載を適正化しました。	2022/11/1	
283	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.97	振動試験結果について、スロッシング荷重の影響を取り除くためのフィルター処理は実施していないことが分かるように、記載を追加しました。	2022/11/1	
284	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.110~119	比較対象とするモデルが明確になるように、各モデルに①~④の付番を行いました。併せて、モデル名の記載を統一しました。	2022/11/1	
285	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.113,114,118	モデルの付番との区別を明確にするため、項目番号を「①、②」から「a、b」に見直しました。	2022/11/1	
286	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.113	4.1.2における解析が時刻歴応答解析であることを明確にするため、記載を追加しました。	2022/11/1	
287	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.122	別紙3での説明内容を明確に示すため、記載を追加しました。(下線部参照) (旧)スペクトルモーダル解析を適用するに当たって・・・ (新)本資料では、スペクトルモーダル解析を適用するに当たって・・・	2022/11/1	

No.	図書番号	図書名称	該当頁 (通し頁)	適正化内容	提出年月日	備考
288	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.122	検討用床応答スペクトルの説明について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)50Hzまで作成した (新)50Hzまで計算した	2022/11/1	
289	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.122	設計用床応答スペクトルの概要が分かるように、追記しました。	2022/11/1	
290	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.145	軸対称容器ではスワール振動が生じる可能性があるため、本解析での発生の有無について確認を行い、結果として発生していない旨を追記しました。	2022/11/1	
291	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.148	サプレッションチェンバ内の水面の位置が分かるように、スロッシング解析結果例として断面図を追加しました。	2022/11/1	
292	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.164	耐震評価に用いる水位が明確になるように、図1中の記載を適正化しました。	2022/11/1	
293	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.169	別紙11のタイトルについて、誤記を適正化しました。	2022/11/1	
294	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.182	別紙14の検討内容が水平2方向入力による影響のみであるため、タイトルを適正化しました。	2022/11/1	
295	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.183	解析で用いる水位が設置許可申請時の影響検討水位であることが分かるように、表2.2-1に注記を追加しました。また、耐震解析用重大事故等時水位と異なる水位で問題ないことを追記しました。	2022/11/1	
296	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.183,184	本解析におけるスワール振動の影響が小さい理由が分かるように、記載を追加しました。併せて、参考文献を示しました。	2022/11/1	
297	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.196~229	別紙18でのモデル名を「3次元はりモデル(〇〇〇)」及び「3次元シェルモデル(〇〇〇)」に統一しました。	2022/11/1	
298	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.218	モデル化手法について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)サポート以外を剛構造・・・ (新)サポート以外を剛体・・・	2022/11/1	
299	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.231,232	ベースプレートが荷重を負担する有効幅の取り方が明確になるように、考え方について追記しました。	2022/11/1	
300	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.240	検討用床応答スペクトルの説明について、記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)50Hzまで考慮した・・・ (新)50Hzまで計算した・・・	2022/11/1	
301	NS2-補-027-10-45改04	サプレッションチェンバ及びサプレッションチェンバサポートの耐震評価手法について	P.244	別紙24の比較内容がサプレッションチェンバ内部水の有効質量比であることを明確にするため、記載を適正化しました。	2022/11/1	